



# キャンドルサービス

## 梵珠少年自然の家

### 1 活動のねらい

- ・ろうそくの炎の独特の雰囲気の中で、自分を見つめ直すとともに仲間との関係を再認識することができます。
- ・火（自然）を見直し、自然への畏敬の念を深めることができます。
- ・仲間とともに歌・踊り・スタンプなどに取り組み、協力や友愛の精神を高めることができます。

### 2 活動の概要

キャンドルの火を囲み、儀式、歌、踊り等を行います。プログラムは団体の実情に応じて様々にアレンジを加えることができます。ゲームやスタンプなど各グループで考えた出し物を組み込むことにより、仲間との協力や親睦を深める活動です。



＜活動の様子＞

- (1)人数 120人以内
- (2)対象 小学校3年生以上
- (3)期間 通年
- (4)時間 1.5時間
- (5)場所 体育館
- (6)経費 10円/ろうそく小1本、40円/ろうそく中1本、180円/ろうそく大1本
- (7)指導 依頼のある場合、指導者に対して、自然の家職員が説明を行う。

### 3 準備物

団体	救急薬品、スタンプやゲームに使用するもの
個人	特になし
自然の家	燭台（全体用）、ろうそくホルダー（個人用）、ろうそく（女神用、営火長用、付き人用、班長用、個人用）、衣装（女神、付き人）

### 4 引率者の役割分担

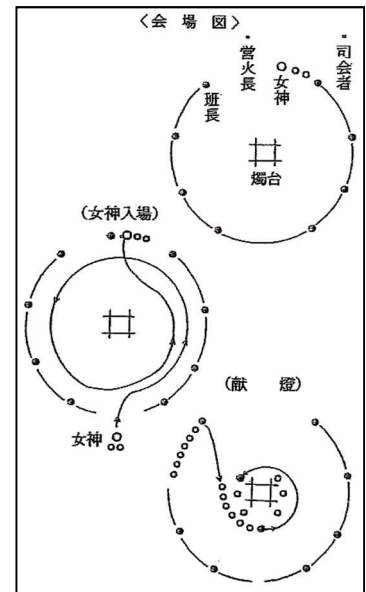
役割名	内容
代表責任者	1名。活動全体の総括、指揮、連絡にあたる。
用具担当者	1～2名。自然の家から貸し出す用具類の管理を行う。
活動支援者	数名。子どもたちの活動を支援し、安全と事故防止に努め、緊急時に対応する。

#### ※実施上の役割（例）

役割名	活動内容	備考
営火長	・団体を代表する人で「火の話」を担当する。	（火の神でも可）
司会者 （エール マスター）	・プログラム全部の進行を行う。 ・2部の「親睦」では、雰囲気を盛り上げるようスタンプなどをうまく進行させる。	・1～2名 ・明るくユーモラスな表現の工夫
ファイヤー キーパー	・ろうそくの火をたやさぬよう管理する。 ・3部でろうそくの火を消す。	・2～4名 ・静かにゆっくり動く
女神 ・付き人	・親火をはこぶ。 ・広い場所で行う時は付き人も従えて入場。	・女神・付き人1～3名 ・歩く速さ、姿勢に注意
ソング リーダー	・すべての歌をリードする。	・3～6名 ・司会者と打ち合わせ

## 5 活動の流れ（例）

	内 容	
説 明	団体の指導者が、児童・生徒等に対して、プログラムの流れや留意点の説明、安全指導等を行う。	
活 動	<b>〈第1部〉 儀式の火（約20分）～おごそかに（静）～</b>	
	入場・整列	・入場時に入口でろうそくを渡す。
	はじめの歌	・「遠き山に日は落ちて」を歌う。（歌→ハミング）
	女神入場	・歌の途中で入場し、所定の位置（営火長の前）につく。
	営火長のことば	・聖火を受け取り火の話をする。
	誓いの火 点灯	・各班長は、その場から一歩前が出る。
		・営火長は、各班長に点火する。
	献 灯	・班長は誓いの火を仲間に点火する。
		・営火長、女神、付き人の次に各班ごと中央の燭台を囲み、班長の献詞（誓いのことば）で一斉に献灯する。
	夜 の 歌	・全員の献灯が終了すると同時に「一日の終わり」を歌う。（1番の歌詞→ハミング）
※歌の終了とともに司会者は第1部の終了と第2部の始まりを告げる。		
<b>〈第2部〉 親睦の火（約55分）～楽しく元気よく（動）～</b>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・全員手拍子でうたう。</li> <li>・班ごとに演技する。</li> <li>・途中に全員の歌や踊りを入れ、雰囲気盛り上げる。</li> <li>・最後は静かな歌で心をしずめる。</li> </ul>		
<b>〈第3部〉 儀式の火（約15分）～おごそかに（静）～</b>		
おわりの歌	・女神は付き人とともに衣装を整え、親火をもって所定の場所に立つ。 ・「一日の終わり」を歌う。（2番の歌詞→ハミング（静かな雰囲気））	
児童・生徒の話	・児童生徒の感想（自分の場所から2歩前に出て）	
別れの歌	・「校歌」「今日の日はさようなら」など歌う。（思いを込めて）	
営火長のことば	・親火を受け取り火の話をする。	
誓いの火 消灯	・営火長のお話のあと班長は一斉に燭台へ進み自分のろうそくを持ち帰る。	
	・ファイヤーキーパーは燭台の火を静かに消していく。	
退 場	・営火長、女神、付き人、各班の順で退場する。	
終了後	<b>あとしまつ</b> ・会場の清掃 ・ろうそくの回収 ・燭台のあとしまつ	

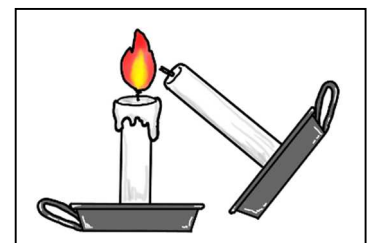


## 6 実施上の留意点

- ・引率指導者と自然の家職員とで会場準備について事前打合せをする。
- ・児童生徒の役割を事前に決めておく。
- ・第2部でスタンプを実施する場合は事前に準備しておいてもよい。

## 7 安全に実施するためのポイント

- ・ろうそくの火を移すときは、火の付いていないろうそくを傾けて火を移す。
- ・献灯するときは、燭台の中央からろうそくを置く。
- ・燭台の周囲で走り回ったりしないように注意する。



＜火のもらい方＞

## 8 資料へのリンク

キャンドルサービスの詳しい資料は、ホームページのトップページ「活動プログラム一覧」バナーから入り、「野外活動プログラム」「キャンドルサービス」の項からリンクがある。